

信越化学工業株式会社

第 145 回定時株主総会 質疑応答要旨

Q 1	当社が事業戦略を遂行するにあたり、取締役候補者それぞれがどのような具体的スキルを持っているのか分かりにくい。いわゆるスキルマトリックスを当社は開示していないが、その理由を伺いたい。 デジタル技術（A I、D X等）に詳しい取締役はいるのか伺いたい。
A	スキルマトリックスについては、様式は違いますが、開示しております。改善の余地がありますので、別途検討させていただきたいと思います。 取締役の中に、A I、D X等に詳しい取締役がいるのかということですが、こういう分野につきまして議論をしておりますし、詳しい取締役もおります。また、この件に取り組んでいる担当の執行役員もおりますので、御安心ください。

Q 2	第 2 号議案の定款変更は、会社法が改正され株主総会資料の電子提供制度が導入されることによるものだが、従来同様、株主総会招集通知を冊子で送るか否かは会社が任意に決められるものと承知している。来年の株主総会での招集通知はこれまでと同様、冊子で発送してくれるのか。何か手続きが必要なのか。冊子で発送する場合、その内容はこれまでと同様か伺いたい。
A	一定の手続きを経ただけであれば、冊子での招集通知を発送する予定です。また、その場合、招集通知の内容については、これまでと同様に作成することを予定しています。

Q 3	第 145 期（2022 年 3 月期）の業績は、生活環境基盤材料事業の塩ビが、好調な米国住宅市場を背景に牽引したようだが、米国で金利が上がり、住宅市場が厳しくなっている中で、直近の塩ビの状況と業績に与える影響を伺いたい。
A	北米の住宅市場が調整局面に入っているということは、おっしゃったとおりだと思います。ただ、これまで米国の住宅市場は絶好調で過熱ぎみと言われるぐらいの状況でしたので、そこからの調整であると認識しております。 それから、当社の事情から申しますと、北米のシンテック社の業績はこの 6 月まで大変好調で、1 月から 6 月までの業績が今期（上期）の連結に組み込まれていきます。とはいえ、確かに住宅市場は調整局面に入っていますので、当社の競争力をフルに生かし、業績をきちっと保ってまいりたいと考えています。

Q 4	最近の大幅な株価の急落について、何か起こったのか、どのように考えているのか伺いたい。
A	経営陣といたしましては、やはり業績をしっかりと上げ、株主還元を着実にやらせていただき、また、株主の皆様に対話を通して会社の事業を正確に御理解いただくと、こういうことが重要だと思っています。

Q 5	<p>会社が永続して発展していくためには、取締役会の多様性が必要ではないか。例えば女性取締役や若い人を選任することが考えられるが、会社がどう考えているか伺いたい。</p>
A	<p>役員に若手を登用すべきではないか、あるいは女性を加えるべきではないか、いわゆるダイバーシティということかと思います。この点につきましては、注意を払って検討しておりますし、女性の役員の候補探しも鋭意行っています。また、若手を登用することも強く意識しており、昨年度から執行役員を設置しましたが、その執行役員の中に将来を担う取締役の候補も入れていくということで取り組んでまいりますので、しばらくお時間をいただきたいと思います。</p>
Q 6	<p>当社の海外の販売比率は非常に高いと認識している。今後、地政学リスクが高まってくると思われるが、そのような中での当社の立ち回り方をどう考えているか伺いたい。</p>
A	<p>経済安全保障ということがよく語られるようになりました。実際、当社が電子材料を中心に大きな役割を果たしていくであろうと期待されておりますし、そういうところにますます力を入れていかなければいけないと思います。世の中、グローバルバリエーションからブロック化へ行くような観測もございますが、その中であってうまく立ち回らなければならないと肝に銘じております。</p> <p>例えば半導体のサプライチェーンの構築ということがよく報道されておりますし、当社がそこに果たす役割は大きいと信じており、実際にそのように取り組んでまいります。一方、国同士のせめぎ合いみたいなところに巻き込まれることはあってはなりませんので、その辺の立ち回りにも気をつけてまいりたいと考えています。</p>
Q 7	<p>親子上場の是非について、当社にも上場子会社があるが、今後どのようにしていくのか、上場を維持していくのか、出資比率の変更などを検討しているのか、考えを伺いたい。</p>
A	<p>当社の場合、親子上場の会社数というのは極めて少ない。それを今後保つのかどうかという点ですが、現状は保つことを考えております。未来永劫ということではなく、現時点では現在の体制、親子上場の関係でうまく物事が回っておりますし、不都合も感じていませんので、しばらくはこのままの状態を維持していくことを考えています。</p>

以 上